

# 三十六角形

H. 22. 12. 16. NO. 15

## 読み聞かせがんばりました

読書まつりに、高学年から低学年への読み聞かせをしました。朝の読書の時間です。去年までは低学年なので本を読んでもらう立場でしたが、今年は高学年になり、読んであげる立場になりました。4年生は2年生に読んであげます。「2年生がわかるように読んであげる自信がない」と言う子もいましたが、一生懸命に練習して本番前には自信たっぷりの表情になりました。

同じ学校にいるとはいえ、話したことがないという子もいます。読み聞かせをする相手の顔もわからないという人もいましたが、2年教室に呼びに行き、張り切って読み聞かせを始めました。緊張しながらも、一生懸命に読んであげている姿は微笑ましく、高学年になったんだなと感じたひと時でした。終わってから感想を聞くと、「2年生が一生懸命に聞いてくれてうれしかった」「終わってから『ありがとうございます』と言ってくれてうれしかった」など、満足した感想がたくさん聞かれました。



# 親子読書ありがとうございました

お忙しい中、親子読書の時間を作っていただきましてありがとうございました。感想を読ませていただく中で、親子読書の良さをたくさん発見しました。

読みながら声をかえたりして、楽しんで長い夜を過ごせました。カタツという音でもドキドキして親子のふれあいを楽しみました。

同じ本を読み感想を言い合いました。子供も同じように感じ、本の伝えたいことがわかっていて、とても良い時間を持つことができました。週に1回くらいは続けていきたいと思います。

久しぶりに一緒に読書をしてゆったりとした時間を過ごすことができました。下の幼稚園の妹も一緒に参加してみんなで声に出して読みました。定期的に続けて行きたいと思います。

「こわいけど昔話だから面白い」という子供のおすすめもあり、ただ怖いだけではなく伝説や民話ならではの感じを楽しみながら読みました。その後でいろんな昔話について話したりしました。

## 自分の力は自分で伸ばす

次の日記は、11月20日に書いたものです。唯さんの音読はこの頃からとても上手になりました。特に、アジアの笑い話の「ぞろぞろ」は、CDで聞いた落語家に似た話し方ができるので、聞いていた子ども達からも感嘆の声や笑い声が自然にわき起こり、落語の世界に浸ることができました。意識して取り組むことでこんなにも力を伸ばすことができるんだと改めて感じました。唯さんの外にも、字を丁寧に書こうと努力している子、自主学習に毎日取り組んでいる子、なわとびを頑張っている子など、自分の力を伸ばすためにそれぞれに頑張っています。

今がんばっていること 本間 唯

わたしは、今、勉強や生活のことで三つがんばっていることがあります。わたしが苦手なことなので、こくふくできるようにがんばっています。

まず一つ目は、国語の音読です。今、教科書の「アジアの笑い話」という物語を読んでいます。いつもじゅ業の時、読む速さが少しバラバラになってしまったり、同じ所でつかつかかかってしまったりします。だから、そうならないように、家庭学習でくり返し練習しています。何回も音読すると、読む速さが安定して、つかつかからなくなりました。声に出してくり返し読むことは、大切なんだと思います。

二つ目は、算数の単位の問題です。メートル、リットル、グラムなどの単位を、キロメートルやデシリットル、キログラムなどに直すのがとてもむずかしいです。一キロメートルは何メートルなのか、小数点はどこに移動するのか、説明されるとわかるけど、何回もやっていると、頭がこんらんしてきて、わからなくなってしまう。だから、教科書で単位のきそくをかくにんしたり、お母さんと実さいにはかりを使って調べたりしました。あとは、何回も問題をといて、自主学習でふく習しました。おかげで、単位の問題がだいぶわかるようになりました。おかげでも、小数やあまりのあるわり算など、算数がだんだんむずかしくなってきたので、自主学習などでくり返し学習するようにしていきたいです。

三つ目は、きちんとかたづけられることです。

(後半省略)